

「第6期岩見沢市総合計画」の  
基本施策等に関する市民意識調査  
(令和3年10月実施)

結果報告書(概要版)

令和4年5月  
岩見沢市





## II 調査結果

### (1) 調査結果の概要

#### 問1: 回答者の基本的属性について

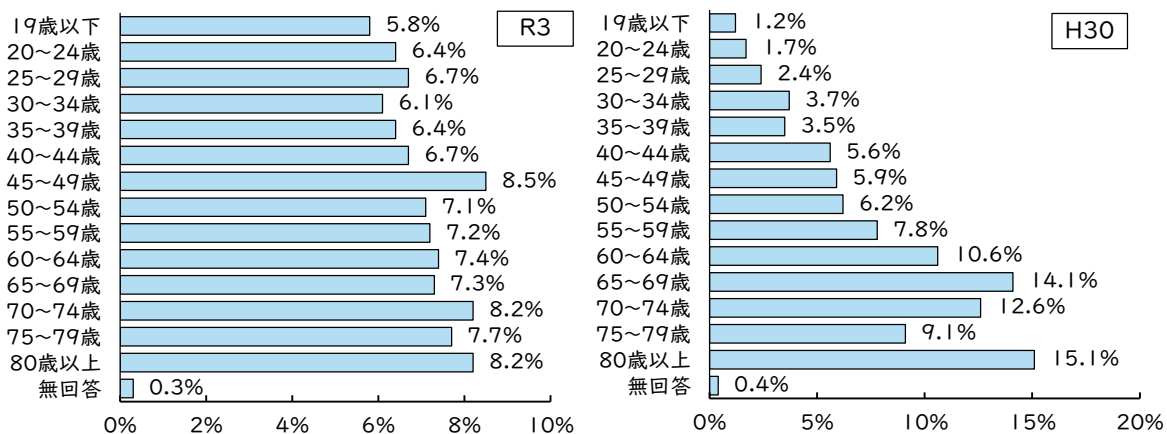
■あなた(回答者)のことがうかがえます(それぞれ1つに○)

- (1)年齢 (2)性別 (3)お住まいの地区 (4)居住歴 (5)住まいの形態 (6)家族構成  
(7)中学生以下の子どもの有無 (8)職業 (9)通勤・通学先

#### ■回答状況

【①年齢】 60歳以上の回答者が4割近くを占めています

回答者の年齢構成



【②性別】 (H30~男35.1% 女48.0%)

N-1,396

N-1,330

男性:45.0% 女性:52.7% その他0.1% (2.2%は無回答)

【③お住いの地区】 (H30~岩89.0% 北3.1% 栗7.4%)

岩見沢地区:89.4% 北村地区:3.4% 栗沢地区:6.4%

「岩見沢地区」の居住者が約9割を占めています(0.8%は無回答)

【④居住歴】 (H30~75.5%)

岩見沢市での居住歴は、「20年以上」が66.3%で最も高くなっています

【⑤住まいの形態】 (H30~80.1%)

居住形態は、「自己(家族)所有」が70.6%で、全体の約7割を占めています

【⑥家族構成】 (H30~ひとり13.6% 夫婦34.5% 二世帯32.5% 三世帯4.6% その他13.8% 無回答1.1%)

ひとり暮らし:17.6% 夫婦のみ:27.2% 二世帯同居:36.4%

三世帯同居:3.6% その他14.3% 無回答0.9%

「二世帯同居」が36.4%で最も高く、次いで「夫婦のみ」の27.2%となっています

【⑦中学生以下の子どもの有無】 (H30~27.8%)

二世帯同居、三世帯同居、その他のうち、中学生以下の子どもが「いる」方の割合は、39.1%となっています

【⑧職業】 (H30~無職32.7% 会社員・公務員・団体職員22.6% パート13.8%)

職業は、「会社員・公務員・団体職員」が32.5%で最も高く、次いで「無職」の20.8%、「パート・アルバイト・派遣社員」の14.1%となっています

【⑨通勤・通学先】 (H30~市内69.2% 市外25.7%)

通勤・通学先は「市内」が71.8%、「市外」が26.0% 無回答2.2%

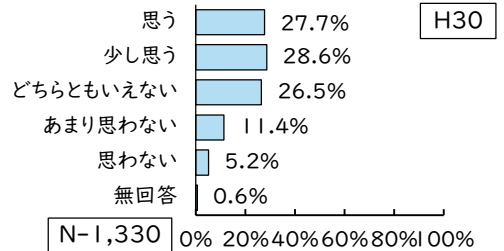
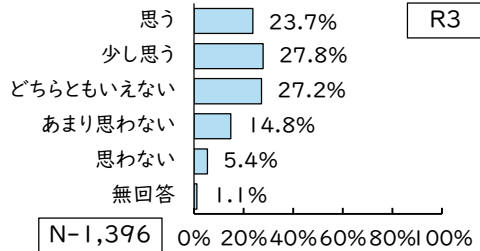
市外の通勤・通学先は、「札幌市」が全体の約4割を占めています

## 問2:市の暮らしやすさについて

■あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか(○は1つ)

### ■回答状況

岩見沢市は暮らしやすいまちだと思うかどうかについて、「少し思う」が27.8%で最も高く、「思う」の23.7%と合わせると、5割以上の方が『思う』と回答しています

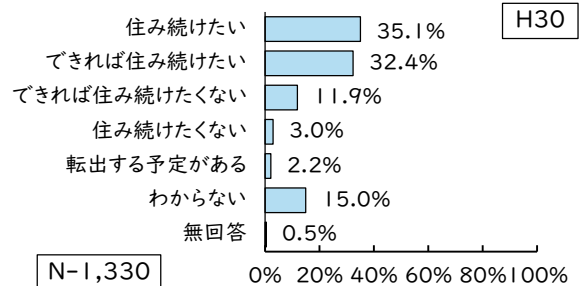
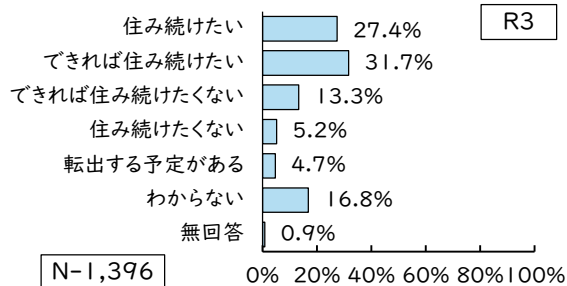


## 問3:今後の定住意向について

■あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか(○は1つ)

### ■回答状況

岩見沢市での定住意向について、「できれば住み続けたい」が31.7%で最も高く、「住み続けたい」の27.4%と合わせると、約6割の方が『住み続けたい』と回答しています

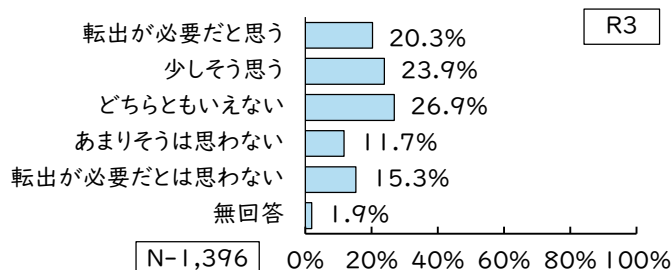


## 問4:人生の転機における転出意向について

■あなたは、進学・就職・結婚・出産・定年・退職・病気や事故など、人生の転機を迎えたとき、岩見沢市から転出する必要があると思いますか(○は1つ)

### ■回答状況

人生の転機を迎えた場合の転出意向について、「どちらともいえない」が26.9%で最も高く、次いで「少しそう思う」の23.9%となっています

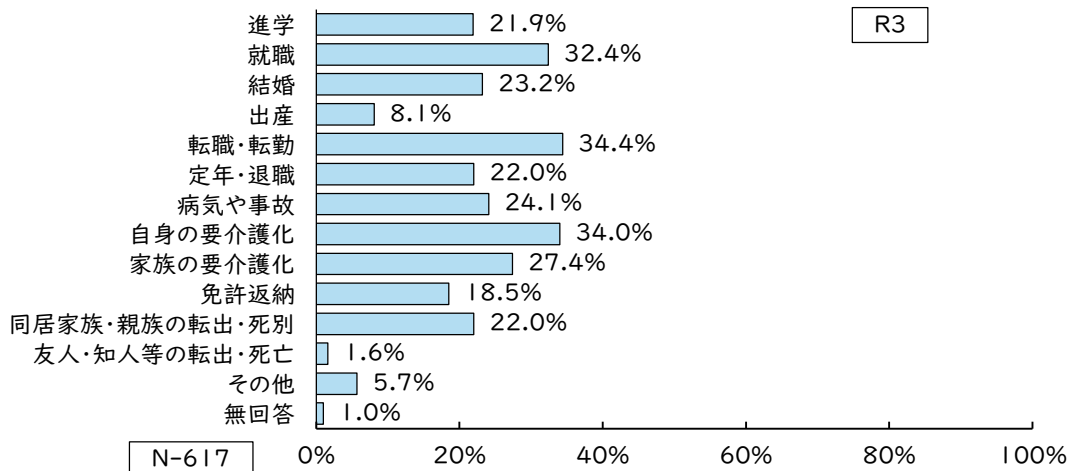


#### 問4-1:人生の転機における転出意向について

■問4で「転出が必要だと思う」、「少しそう思う」と答えた方で、転出が必要だと思う「転機」を以下の項目のあてはまるものを選んでください(あてはまるものすべてに○)

##### ■回答状況

人生の転機を迎えたときの転出理由では、「転職・転勤」が34.4%で最も高く、次いで「自身の要介護化」の34.0%、「就職」の32.4%と続いています

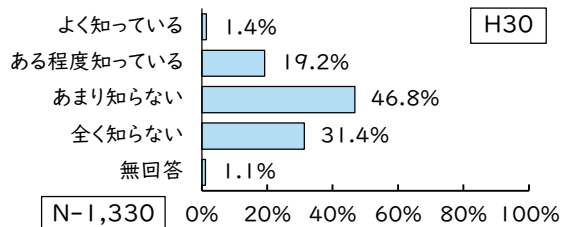
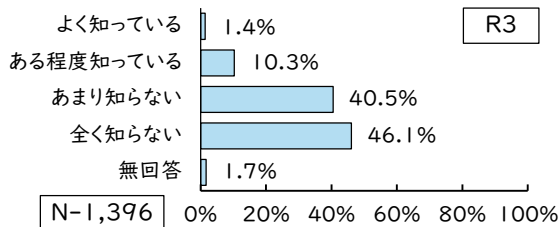


#### 問5:まちづくり基本条例の認知度について

■あなたは、「まちづくり基本条例」をご存知ですか(○は1つ)

##### ■回答状況

「まちづくり基本条例」の認知度は、「全く知らない」が46.1%で最も高く、次いで「あまり知らない」の40.5%、「ある程度知っている」10.3%と続いており、『知っている』と回答しているのは、1割程度となっています



## 問6:総合的な雪対策に対する評価等について

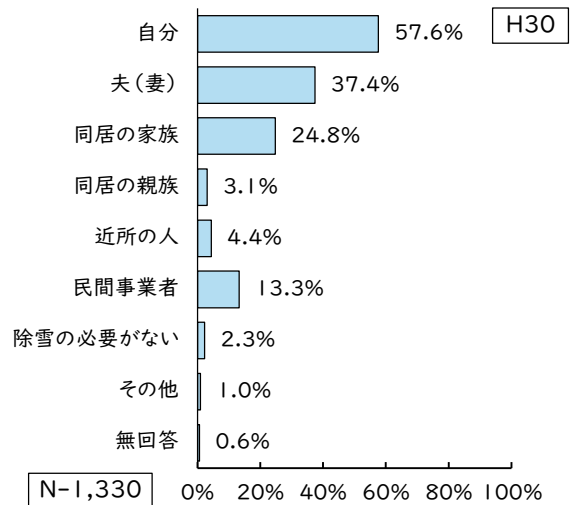
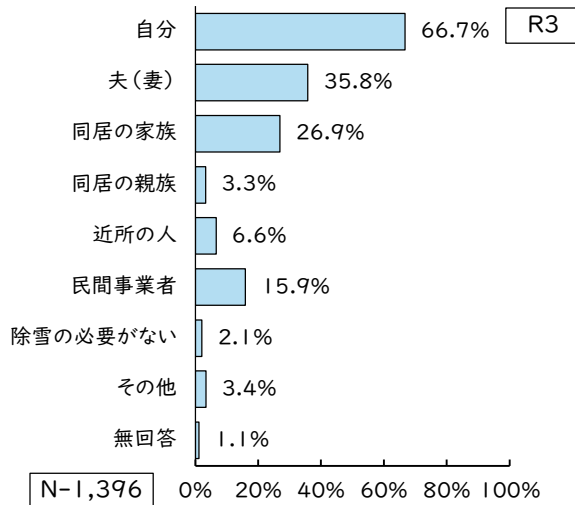
### ■雪対策についてうかがいます

- (1)あなたのご自宅では、主にどなたが除雪作業を担っていますか  
(あてはまるものすべてに○)
- (2)あなたは、岩見沢市の『総合的な雪対策』をどのように評価しますか  
(○は1つ)

### ■回答状況

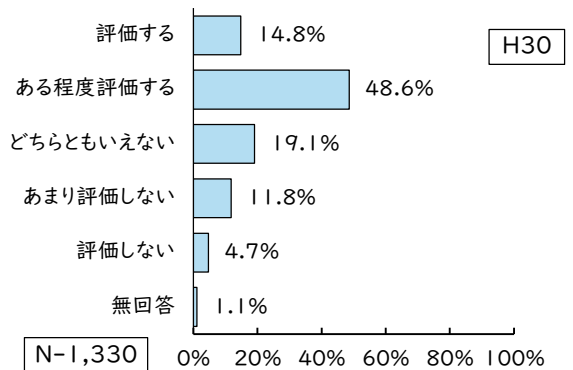
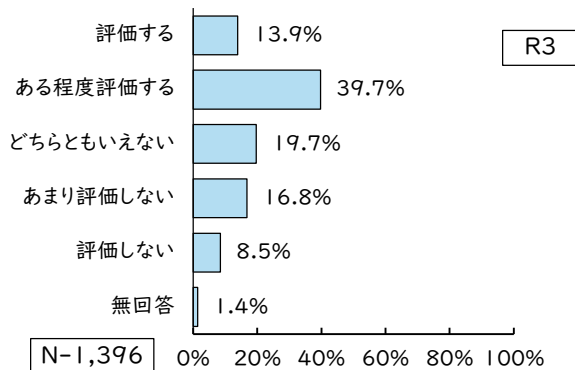
#### (1)除雪作業の担い手

自宅での除雪作業の担い手について、「自分」が66.7%で最も高く、次いで「夫(妻)」の35.8%、「同居の家族」の26.9%となっています



#### (2)『総合的な雪対策』に対する評価について

「ある程度評価する」が39.7%で最も高く、「評価する」の13.9%と合わせると、5割以上の方が『評価する』と回答しています



## 問7:総合計画の基本施策に対する満足度について

### ■第6期岩見沢市総合計画における基本施策についてうかがいます

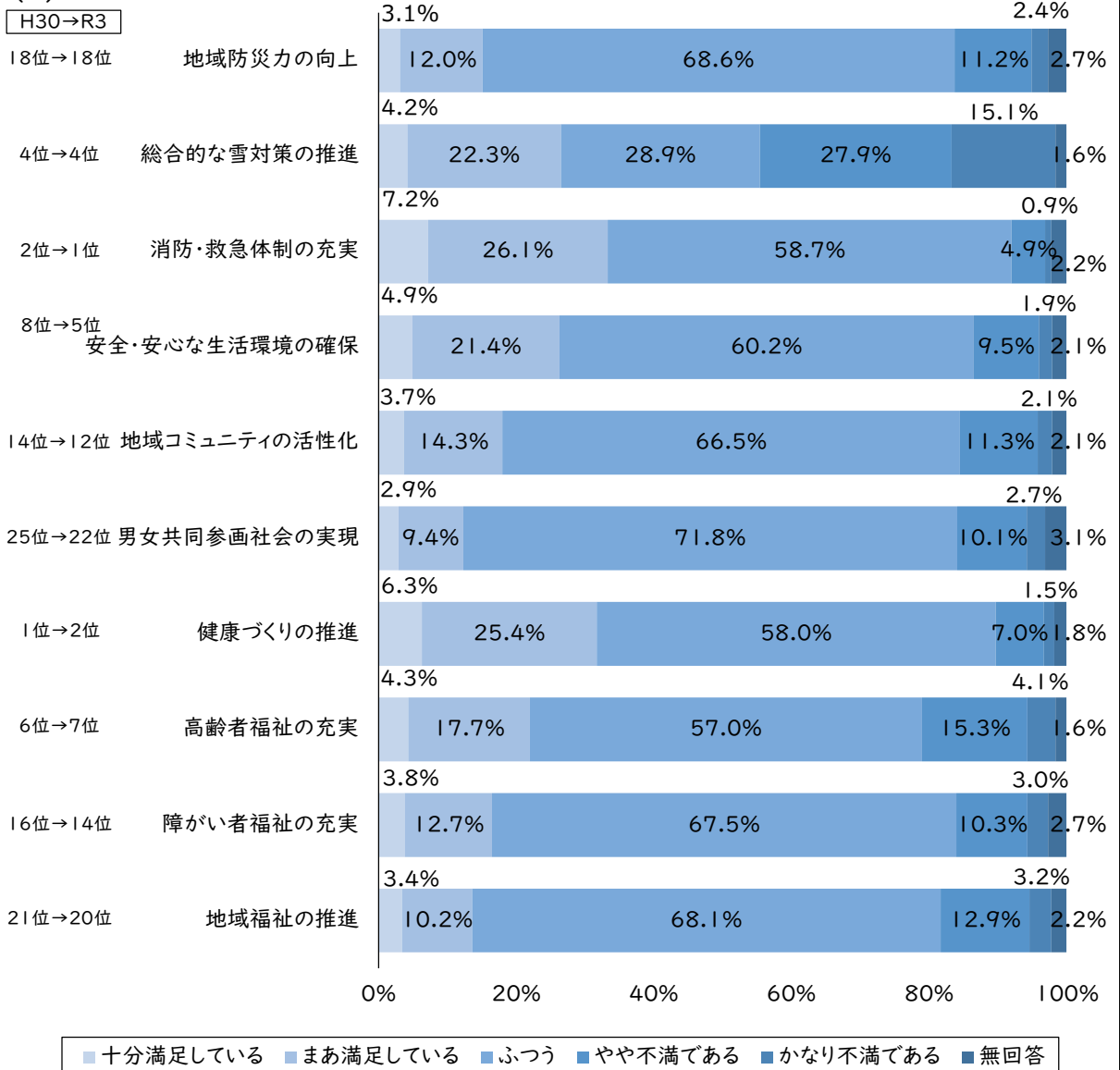
以下の項目の「現在の満足度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください  
(それぞれ1つに○)

### ■回答状況

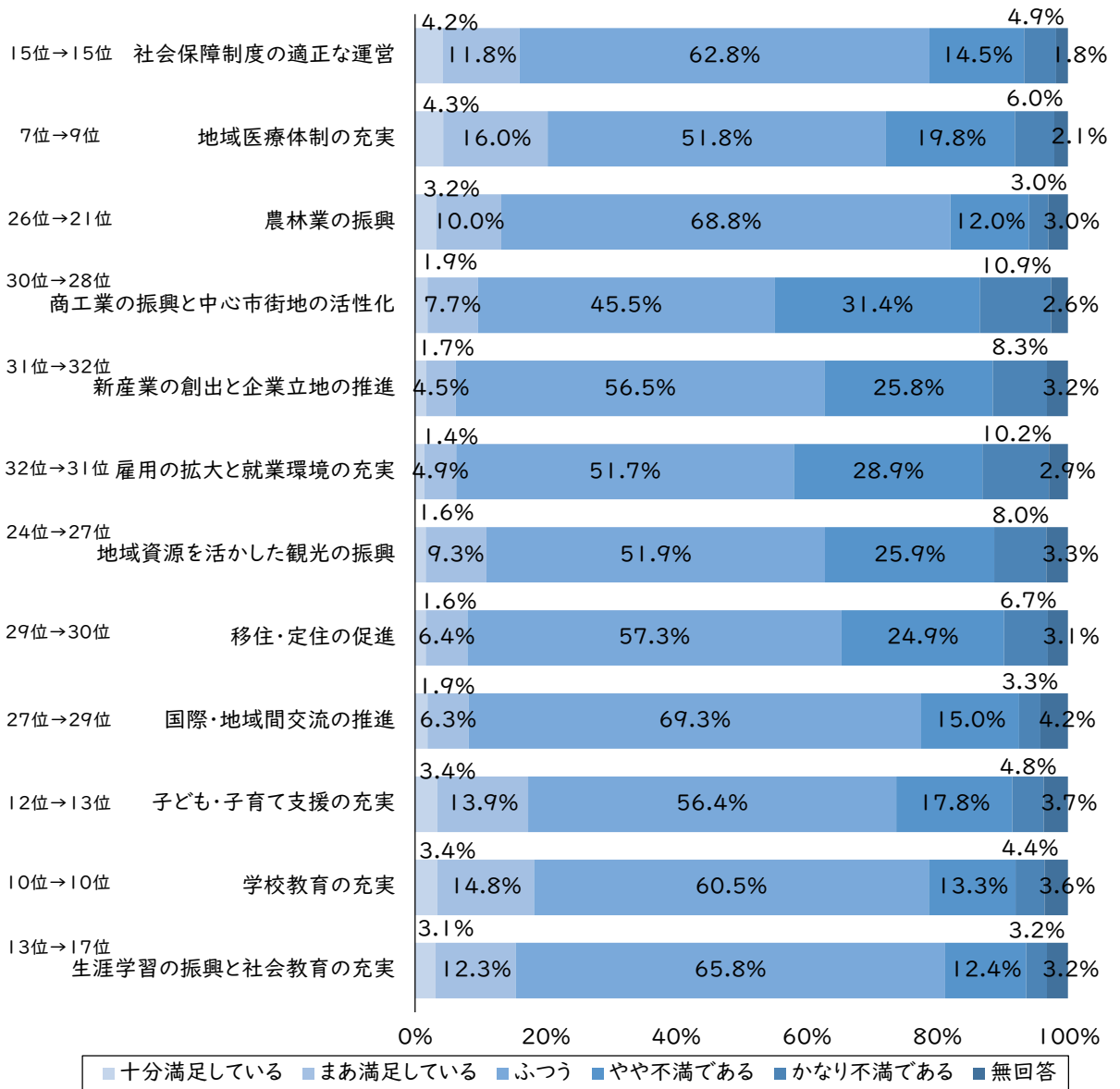
満足度が高い基本施策について、「消防・救急体制の充実」の満足度が最も高く、「十分満足している」と「まあ満足している」を合わせると33.3%、次いで「健康づくりの推進」の31.7%、「緑豊かなまちづくりの推進」の29.8%と続いています

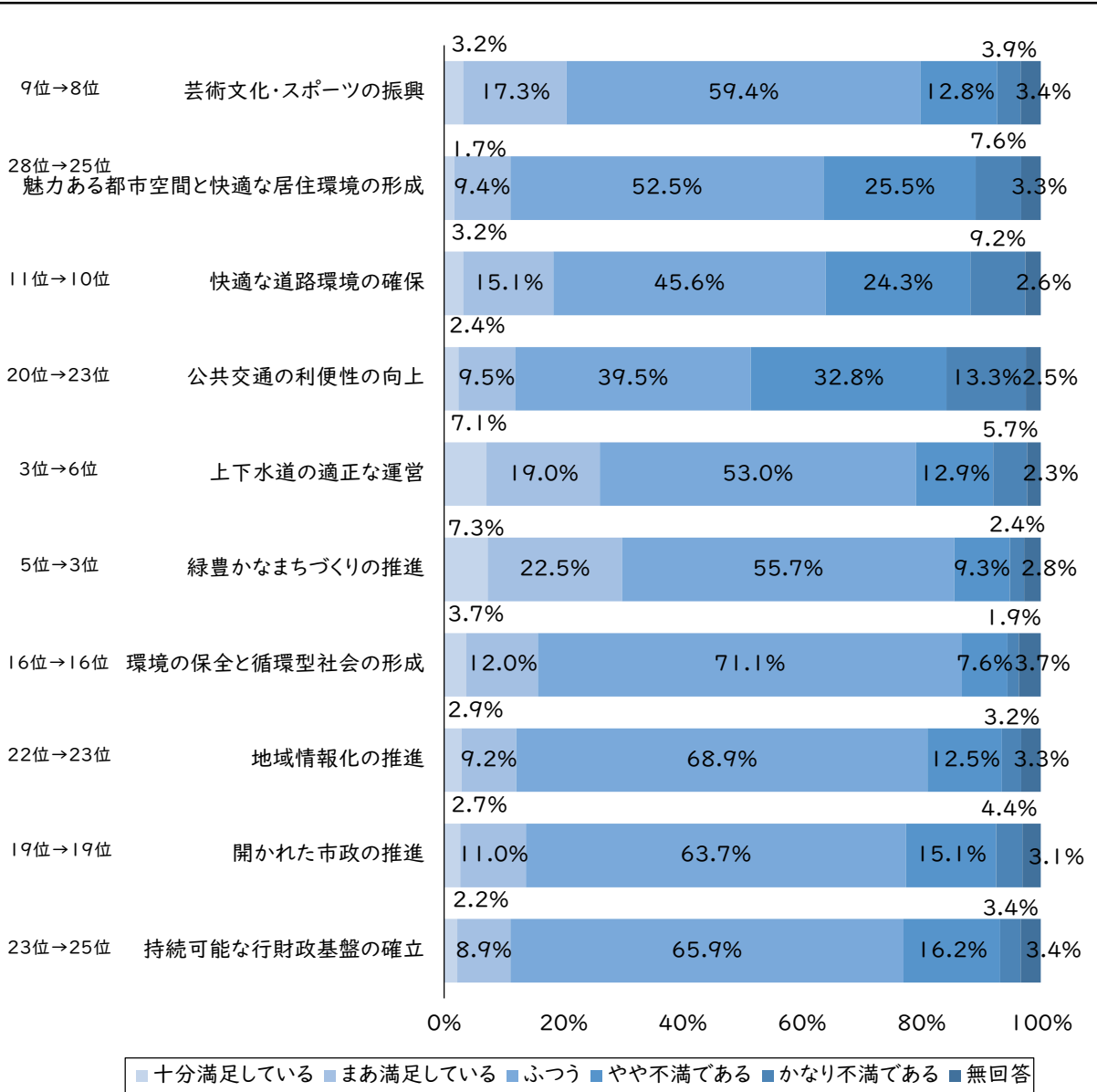
満足度が低い基本施策については、「公共交通の利便性の向上」の満足度が最も低く、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると46.1%、次いで「総合的な雪対策の推進」の43.0%、「商工業の振興と中心市街地の活性化」の42.3%となっています

#### (1) 各基本施策の満足度



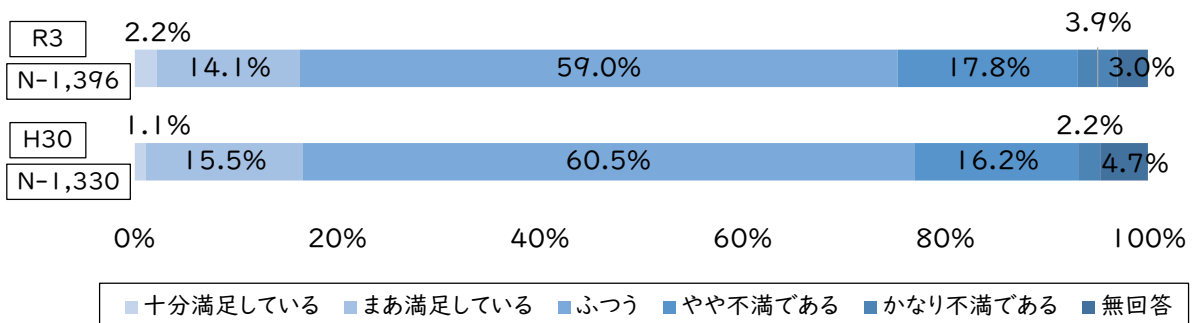






## (2) 岩見沢市の施策に対する総合的な満足度

施策に対する総合的な満足度は、「十分満足している」と「まあ満足している」を合わせると16.3%、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると21.7%となっています



## 問8: 普段の生活や関心について

### ■あなたの普段の生活や関心についてうかがいます

以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください(それぞれ1つに○)

### ■回答状況

普段の生活や関心について、

- ・「とてもあてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた割合が高い項目

「ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている」(77.9%)

「スマートフォンはあなたの生活に欠かせない」(71.3%)

H30同様

「自宅でインターネットをよく利用している」(66.3%) など

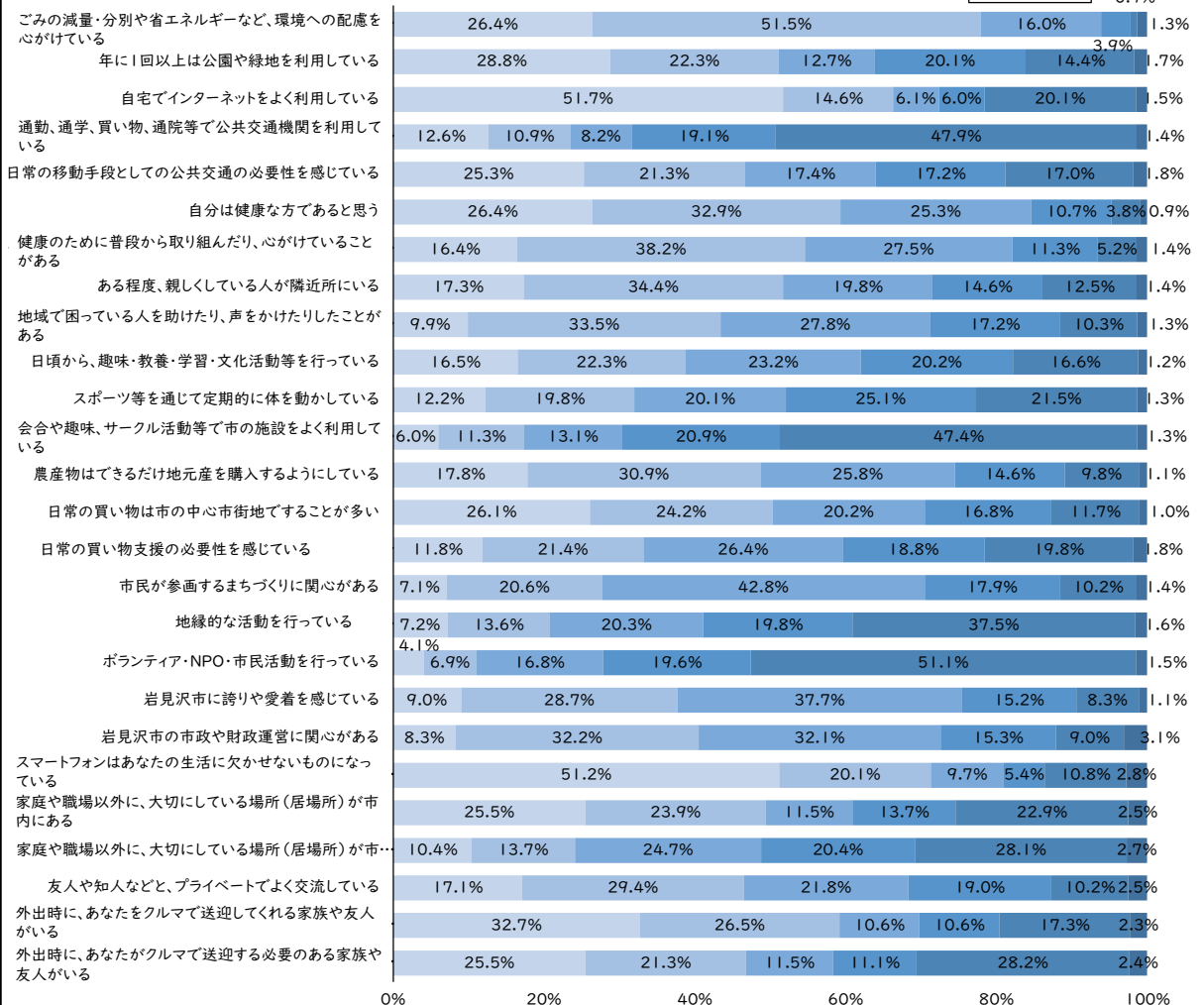
- ・「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせた割合が高い項目 全てH30と同様

「ボランティア・NPO・市民活動を行っている」(70.7%)

「会合や趣味、サークル活動等で市の施設をよく利用している」(68.3%)

「通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している」(67.0%) など

N=1,396



とてもあてはまる
  少しあてはまる
  どちらともいえない
  あまりあてはまらない
  全くあてはまらない
  無回答

## 問9:防災に関する意識について

### ■防災に関する意識についてうかがいます

- (1) あなたの生活の中で、特に不安に思う災害を次の中から選んでください
- (2) あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に対して、どのような備えをしていますか
- (3) 災害が発生した場合、防災情報をどのような方法で入手することを想定していますか
- (4) 現在お住まいの家の耐震性について、以下の項目のいずれか当てはまるものを選んでください(設問1(5)住まいの形態において、「自己(家族)所有」を選択した方のみ)

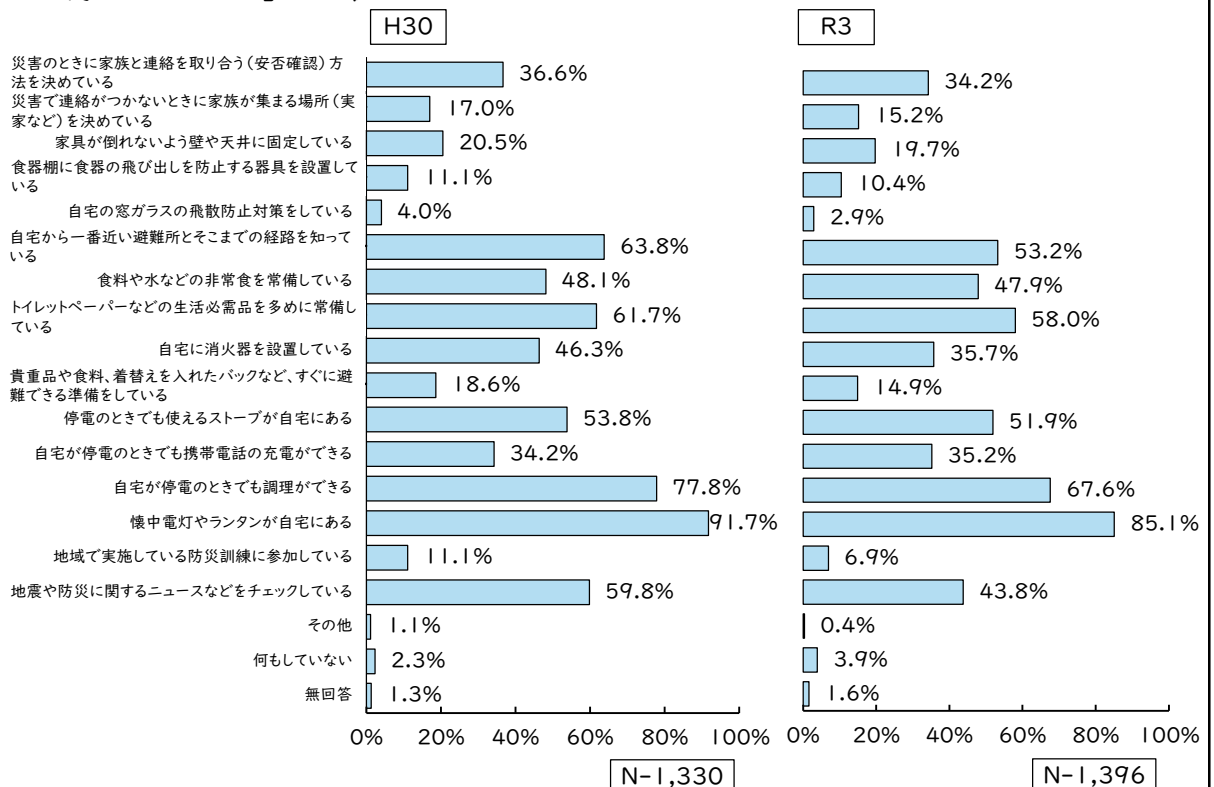
### ■回答状況

#### (1) 特に不安に思う災害

不安に思う災害は、「豪雪・暴風雪」の76.6%で最も高く、次いで「地震」の56.1%、「大規模停電」の29.3%となっています

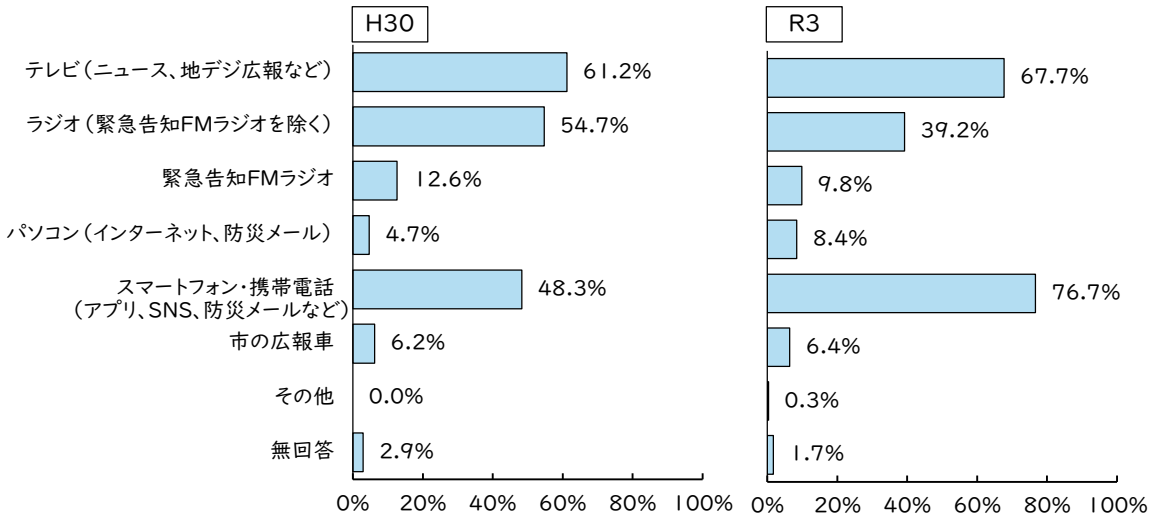
#### (2) 災害に対する備え

- ・備えている割合が高い項目
  - 「懐中電灯やランタンが自宅にある」(85.1%)
  - 「自宅が停電のときでも調理ができる」(67.6%)
  - 「トイレトペーパーなどの生活必需品を多めに常備している」(58.0%) など
- ・備えている割合が低い項目
  - 「自宅の窓ガラスの飛散防止対策をしている」(2.9%)
  - 「地域で実施している防災訓練に参加している」(6.9%)
  - 「食器棚に食器の飛び出しを防止する器具を設置している」(10.4%) など
- ・「何もしていない」の回答:3.9%



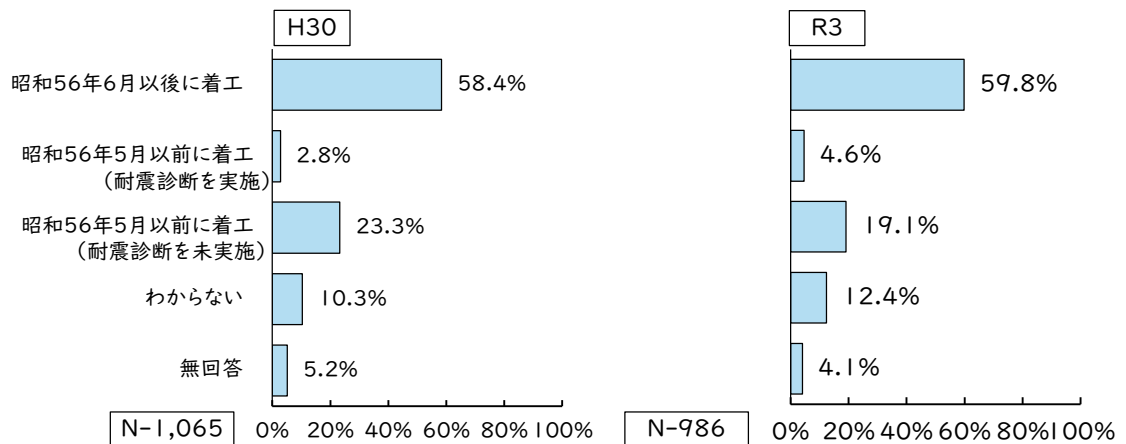
### (3) 防災情報の入手手段

災害時の情報入手手段は、「スマートフォン・携帯電話」が76.7%で最も高く、次いで「テレビ」の67.7%、「ラジオ」の39.2%となっています



### (4) 自宅の耐震性

問1の5住まいの形態で「自己(家族所有)」と答えた方における、住まいの耐震性については、昭和56年6月以後に着工した新耐震基準の家屋59.8%と多数を占めますが、一方で、旧耐震基準の家屋で耐震診断を実施していないもの19.1%となっています



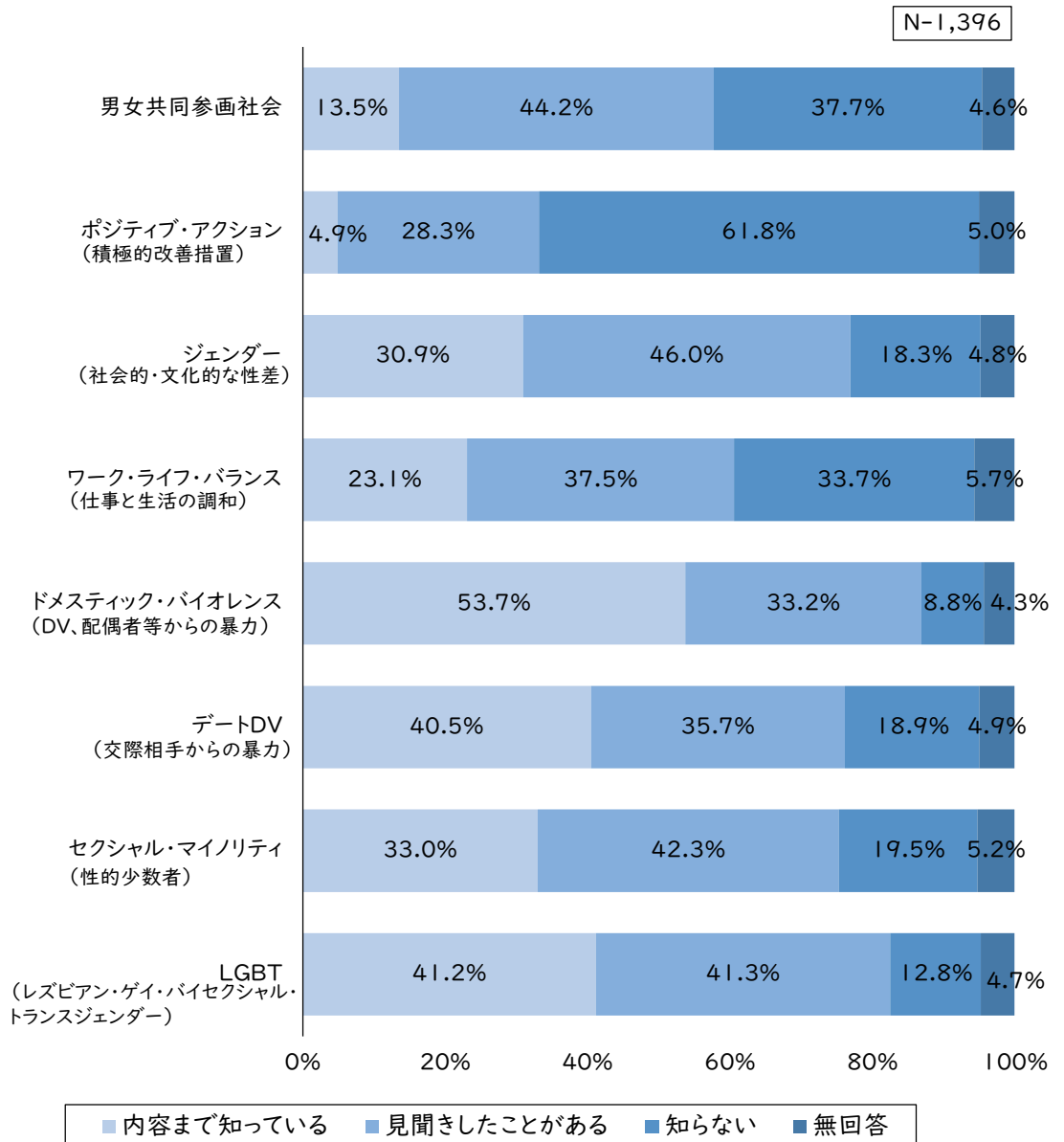
## 問10: 男女共同参画社会の認知度について

■ 男女共同参画についてうかがいます。

以下の項目について、あなたの認識に近いものを選んでください(それぞれ1つに○)

### ■ 回答状況

男女共同参画に関する用語の認知度は、「ドメスティック・バイオレンス」が最も高く、「内容まで知っている」と「見聞きしたことがある」を合わせると86.9%、次いで「LGBT」の82.5%、「ジェンダー」の76.9%と続いています



## 問11: サードプレイス(私的行動)の傾向について

■市内であなたがプライベートの目的でよく訪れる場所と、その頻度について、あてはまるものに○をし、該当する項目に日数を記入してください

### ■回答状況

プライベートの目的でよく訪れる場所について

・活動区分別において割合が高い項目

町会・自治会活動 → 「買物施設」24.3%、「医療施設」16.0%

サークル活動 → 「公共施設」29.2%、「買物施設」15.1%

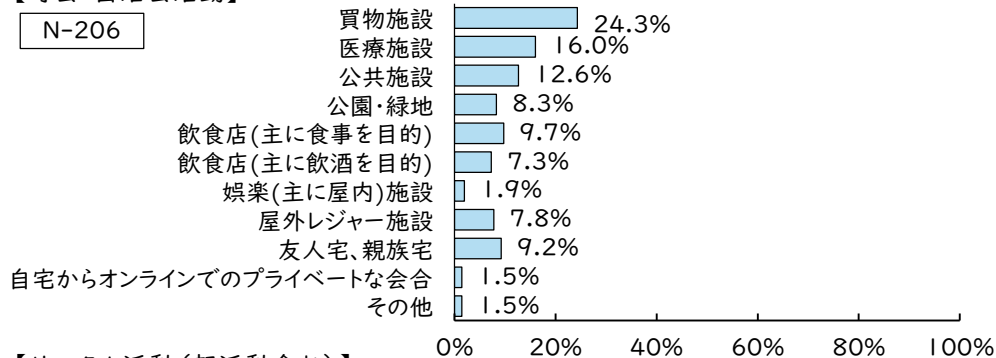
その他 → 「買物施設」29.0%、「医療施設」16.3%

・一人ひと月あたりの日数の多い項目

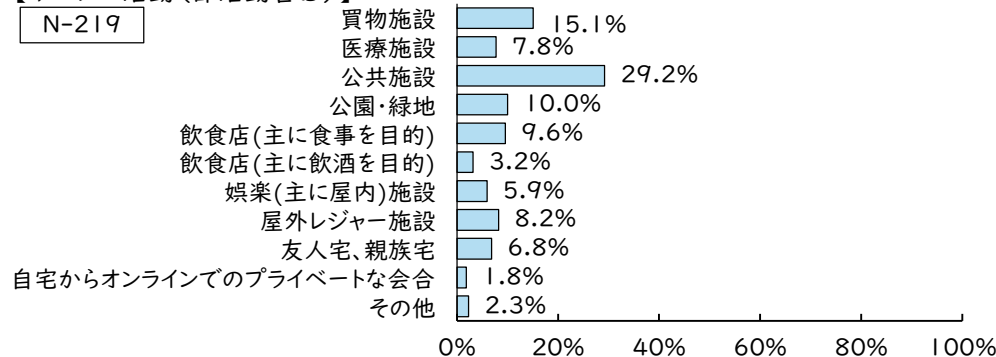
「買物施設」9.44日、「自宅からオンラインでのプライベートな会合」5.47日

項目	町会・自治会活動		サークル活動 (部活動等含む)		その他		合計		総日数
	該当者	平均日数	該当者	平均日数	該当者	平均日数	該当者	平均日数	
買物施設	50	6.28	33	7.24	884	9.70	967	9.44	9124
医療施設	33	2.21	17	3.94	496	2.31	546	2.35	1284
公共施設	26	2.50	64	5.14	258	3.48	348	3.71	1291
公園・緑地	17	5.47	22	4.91	278	4.45	317	4.52	1433
飲食店(主に食事を目的)	20	2.75	21	3.52	475	3.33	516	3.31	1707
飲食店(主に飲酒を目的)	15	0.80	7	3.71	85	2.16	107	2.03	217
娯楽(主に屋内)施設	4	5.25	13	3.62	93	4.83	110	4.70	517
屋外レジャー施設	16	4.13	18	6.28	71	4.41	105	4.69	492
友人宅、親族宅	19	5.00	15	3.47	338	4.93	372	4.86	1808
自宅からオンラインでのプライベートな会合	3	4.00	4	6.50	52	5.48	59	5.47	323
その他	3	20.67	5	7.80	15	13.85	23	12.22	281

#### 【町会・自治会活動】

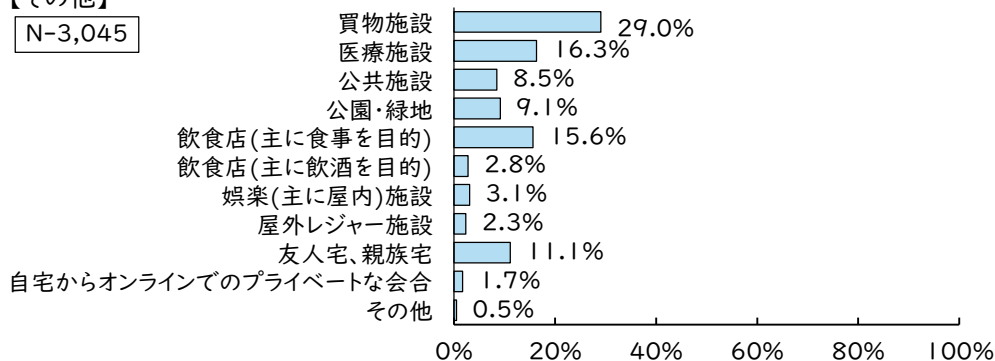


#### 【サークル活動(部活動含む)】



【その他】

N-3,045



問12: 市政に対するご意見・ご提案等について

■最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください

■回答状況

市政に対するご意見、ご提案等について、回答者全体の30.5%にあたる427人の方からご回答をいただきました

ご意見等の内容を分野別に分類すると、「雪対策」に関するご意見等が150件で最も多く、次いで「環境保全・都市基盤整備」が75件、「市民意識調査・その他」が65件、「産業経済・交流」、「健康・福祉・医療」がともに50件となっています

分野	件数	意見内容
雪対策	150件	除雪体制の充実、間口の置き雪対策、丁寧な除排雪対応など
産業経済・交流	50件	道の駅の設置、中心市街地・商店会の活性化、企業誘致、観光資源の活用など
行財政運営	40件	行政情報の発信、税金の効果的な活用、窓口対応の改善など
環境保全・都市基盤整備	75件	道路の整備、ごみの分別・収集、光回線の普及、公園遊具更新など
健康・福祉・医療	50件	コロナ対策、市立病院の窓口対応の改善、医療費の負担軽減など
子ども・教育・文化	34件	子育て支援の充実・経済的負担の軽減、教育環境の整備など
公共交通	38件	バス交通等の利便性向上、免許返納後の交通施策の検討など
移住・定住・人口減少	13件	若者が魅力を感じる施策の推進、市の魅力のPRの強化など
防災・防犯・交通安全・地域コミュニティ	21件	交通安全の強化、防犯対策の充実、防災訓練の実施、避難場所の確保など
市民意識調査・その他	65件	今後の市政への期待・激励、調査内容など
計	536件	



### Ⅲ 調査分析

#### (1) 重要項目の相関関係

■本調査における重要項目である問2の「暮らしやすさ」、問3の「今後の定住意向」、問4の「転出意向」、問7(2)の「市の施策に対する総合的な満足度」、問8の「岩見沢市に誇りや愛着を感じている」などの関係性について、相関係数による分析を行った結果、5つの項目すべてにおいて、有意に相関関係があることが分かります。

##### 【相関係数の状況】

区分	暮らしやすさ	定住意向	転出意向	施策満足度	地域愛着
暮らしやすさ	1.000	0.489	0.335	0.443	0.487
定住意向		1.000	0.535	0.210	0.448
転出意向			1.000	0.200	0.339
施策満足度				1.000	0.406
地域愛着					1.000

※相関係数は、マイナス1から1の範囲内で示される値であり、値が1に近づくほど相関関係が強いことを意味します。

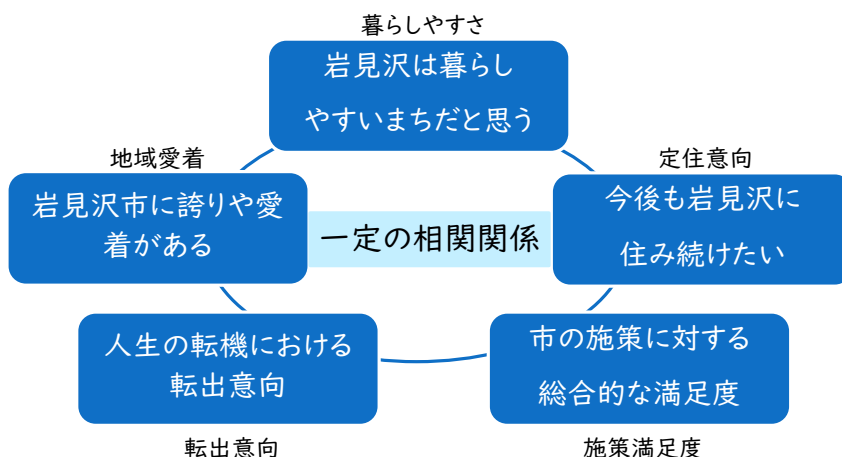
※結果に対する有意検定(信頼性の高さの判定)では、いずれも「1%有意」となっており、同様の調査を100回実施した場合、99回は同じような結果が得られるほど信頼性の高い結果となっています。

■今後も岩見沢市に住み続けたいと思う「定住意向」と人生の転機を迎えた時の「転出意向」との間に、強い相関関係があることを意味しています。

問4-1の「転出が必要と考えるシーン」では、「転職・転勤」、「自身の要介護化」、「就職」などの割合が高く、これらの要因を背景とした転出を回避していくことが、定住意向の向上に結びつくものと考えられます。

■「地域愛着」についても強い相関関係があり、岩見沢市への誇りや愛着が高いほど、定住意向や転出回避、施策満足度も向上していくことを意味しています。

■「施策満足度」と「今後の定住意向」や「転出意向」との相関関係は、他の相関関係と比較すると低くなっていますが、「地域愛着」を高めることが、それぞれの項目の向上に寄与するものと考えられます。



## (2)顧客満足度分析(CS分析)

■「第6期岩見沢市総合計画」を着実に推進するため、顧客満足度(Customer Satisfaction: CS)分析を用いて、「岩見沢市の施策に対する総合的な満足度」を高めるために優先的に改善すべき施策は何かという課題を明確にします。

### ■CS分析

- ①総合計画における32の基本施策の満足度を「満足率」として数値化
- ②総合的な満足度に与える32の基本施策の満足度の影響を「重要度」として数値化
- ③重要度が高いにも関わらず満足度が低い場合に高くなる指標値である「改善度」を提示

#### 【各基本施策の満足度、重要度及び改善度】

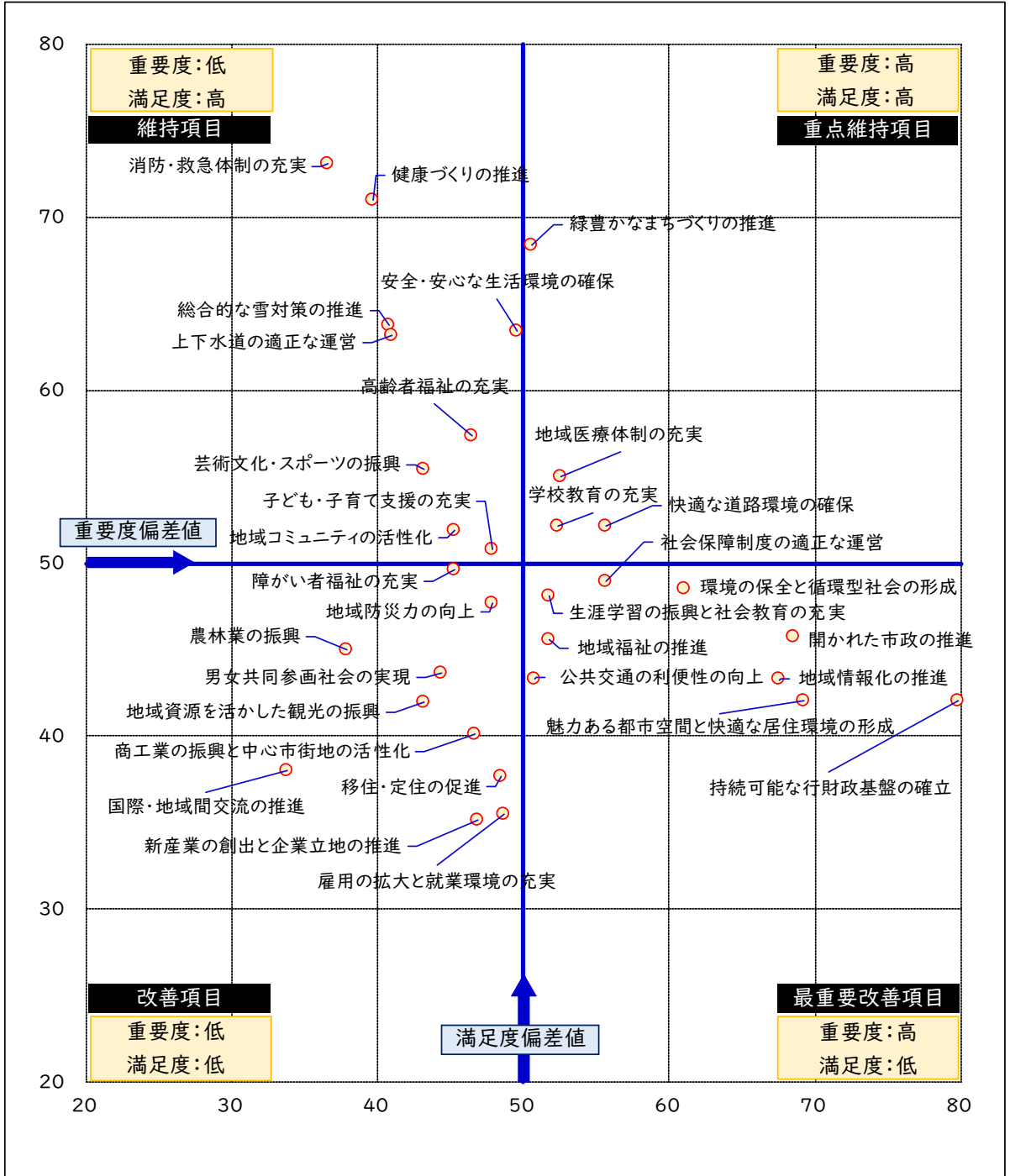
基本施策	満足度 (満足率:%)		重要度 (相関係数)		改善度	
	順位	指標	順位	指標	順位	指標
1-1 地域防災力の向上	18	15.1	17	0.508	18	0.01
1-2 総合的な雪対策の推進	4	26.5	28	0.472	30	▲16.22
1-3 消防・救急体制の充実	1	33.3	31	0.450	32	▲25.95
1-4 安全・安心な生活環境の確保	5	26.3	14	0.517	27	▲9.76
1-5 地域コミュニティの活性化	12	18.1	22	0.495	23	▲4.66
1-6 男女共同参画社会の実現	22	12.2	24	0.490	16	0.48
2-1 健康づくりの推進	2	31.7	29	0.466	31	▲22.26
2-2 高齢者福祉の充実	7	22.0	21	0.501	25	▲7.71
2-3 障がい者福祉の充実	14	16.5	22	0.495	21	▲3.04
2-4 地域福祉の推進	20	13.6	10	0.528	12	4.35
2-5 社会保障制度の適正な運営	15	16.0	6	0.548	11	4.65
2-6 地域医療体制の充実	9	20.3	8	0.532	19	▲1.79
3-1 農林業の振興	21	13.2	30	0.457	24	▲5.07
3-2 商工業の振興と中心街地の活性化	28	9.70	20	0.502	10	4.68
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	32	6.20	19	0.503	7	8.28
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	31	6.40	15	0.512	5	9.38
3-5 地域資源を活かした観光の振興	27	11.0	25	0.484	15	0.93
3-6 移住・定住の促進	30	8.00	16	0.511	8	7.55
3-7 国際・地域間交流の推進	29	8.20	32	0.436	22	▲3.06
4-1 子ども・子育て支援の充実	13	17.3	17	0.508	20	▲2.19
4-2 学校教育の充実	10	18.3	9	0.531	17	0.14
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	17	15.4	10	0.528	13	2.49
4-4 芸術文化・スポーツの振興	8	20.6	25	0.484	26	▲8.68
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	25	11.1	2	0.618	2	19.19
5-2 快適な道路環境の確保	10	18.3	6	0.548	14	2.33
5-3 公共交通の利便性の向上	23	12.0	12	0.523	9	5.33
5-4 上下水道の適正な運営	6	26.1	27	0.473	29	▲15.6
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	3	29.8	13	0.522	28	▲12.58
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	16	15.7	5	0.576	6	8.86
5-7 地域情報化の推進	23	12.0	4	0.609	3	17.02
6-1 開かれた市政の推進	19	13.7	3	0.614	4	16.16
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	25	11.1	1	0.672	1	26.71

※「満足度」はアンケート調査(問7)における「十分満足」と「まあ満足」の回答の計が回答全体に占める割合(無回答を除外しているため、問7の調査結果とは割合が異なる)

■改善の必要性の高い基本施策を明確に示すため、CS分析に基づく32の基本施策の満足率と重要度を偏差値で表し、分布図で示した場合は、以下のような結果になります。

■図の右下のエリアに分布する項目が、相対的にみて重要度が高いにも関わらず満足度が低い基本施策であり、優先的に改善すべき基本施策となります。

【各基本施策の満足度と重要度による分布図】



### (3) 各基本施策の満足度分析

■基本施策をCS分析に基づく改善の必要性が高い順に示すと以下のような結果になります。

【各基本施策の改善の必要性(改善度)による区分】

改善度		基本施策	
順位 (H30→R3)	指標		
1位→1位	26.71	6-2	持続可能な行財政基盤の確立
3位→2位	19.19	5-1	魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成
4位→3位	17.02	5-7	地域情報化の推進
2位→4位	16.16	6-1	開かれた市政の推進
8位→5位	9.38	3-4	雇用の拡大と就業環境の充実
6位→6位	8.86	5-6	環境の保全と循環型社会の形成
17位→7位	8.28	3-3	新産業の創出と企業立地の推進
15位→8位	7.55	3-6	移住・定住の促進
12位→9位	5.33	5-3	公共交通の利便性の向上
20位→10位	4.68	3-2	商工業の振興と中心市街地の活性化
9位→11位	4.65	2-5	社会保障制度の適正な運営
5位→12位	4.35	2-4	地域福祉の推進
14位→13位	2.49	4-3	生涯学習の振興と社会教育の充実
7位→14位	2.33	5-2	快適な道路環境の確保
16位→15位	0.93	3-5	地域資源を活かした観光の振興
21位→16位	0.48	1-6	男女共同参画社会の実現
10位→17位	0.14	4-2	学校教育の充実
11位→18位	0.01	1-1	地域防災力の向上
23位→19位	▲ 1.79	2-6	地域医療体制の充実
13位→20位	▲ 2.19	4-1	子ども・子育て支援の充実
19位→21位	▲ 3.04	2-3	障がい者福祉の充実
18位→22位	▲ 3.06	3-7	国際・地域間交流の推進
27位→23位	▲ 4.66	1-5	地域コミュニティの活性化
28位→24位	▲ 5.07	3-1	農林業の振興
22位→25位	▲ 7.71	2-2	高齢者福祉の充実
25位→26位	▲ 8.68	4-4	芸術文化・スポーツの振興
24位→27位	▲ 9.76	1-4	安全・安心な生活環境の確保
26位→28位	▲ 12.58	5-5	緑豊かなまちづくりの推進
30位→29位	▲ 15.60	5-4	上下水道の適正な運営
29位→30位	▲ 16.22	1-2	総合的な雪対策の推進
32位→31位	▲ 22.26	2-1	健康づくりの推進
31位→32位	▲ 25.95	1-3	消防・救急体制の充実

■結果報告書(本編)においては、32の基本施策の年齢区分別の満足度分析や、施策の特性に応じて、家族構成や普段の生活、関心などの状況と施策に対する満足度との関係性について分析を行っています。

## (4) 満足度と定住意向の関係性

■各施策の満足度と設問3「定住意向」の相関関係から、基本施策の満足度が定住意向に与える影響(重要度)について分析を行います。

■定住意向は、仕事の都合や家族との関係など、個々の事情によるところが大きく、必ずしも基本施策の満足度に左右されるものではありませんが、年齢区分別に施策の満足度と定住意向の関係性を検証し、今後の人口減少対策を検討するための要素の1つと位置づけます。

### 【基本施策の満足度と定住意向の相関関係】

基本施策	基本施策の満足度と定住意向の相関関係(重要度:相関係数)							
	全体		ヤング 39歳以下		ミドル 40-64歳		シニア 65歳以上	
	順位	指標	順位	指標	順位	指標	順位	指標
1-1 地域防災力の向上	14	0.202	6	0.248	29	0.165	14	0.170
1-2 総合的な雪対策の推進	1	0.269	7	0.246	10	0.226	1	0.335
1-3 消防・救急体制の充実	17	0.194	30	0.126	20	0.205	12	0.192
1-4 安全・安心な生活環境の確保	19	0.182	29	0.135	18	0.208	7	0.210
1-5 地域コミュニティの活性化	28	0.166	27	0.158	29	0.165	15	0.169
1-6 男女共同参画社会の実現	29	0.163	17	0.211	26	0.169	29	0.101
2-1 健康づくりの推進	25	0.172	22	0.175	25	0.179	22	0.128
2-2 高齢者福祉の充実	7	0.232	11	0.227	5	0.258	4	0.234
2-3 障がい者福祉の充実	12	0.207	20	0.196	9	0.237	9	0.199
2-4 地域福祉の推進	13	0.203	21	0.189	13	0.220	6	0.213
2-5 社会保障制度の適正な運営	9	0.223	8	0.233	23	0.188	2	0.253
2-6 地域医療体制の充実	4	0.241	14	0.214	12	0.221	3	0.249
3-1 農林業の振興	32	0.104	32	0.023	32	0.131	21	0.130
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	8	0.230	10	0.231	1	0.271	11	0.195
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	27	0.168	23	0.172	15	0.211	19	0.143
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	14	0.202	26	0.164	7	0.251	16	0.156
3-5 地域資源を活かした観光の振興	5	0.240	13	0.220	5	0.258	8	0.200
3-6 移住・定住の促進	11	0.209	19	0.197	4	0.261	24	0.119
3-7 国際・地域間交流の推進	26	0.169	5	0.249	31	0.160	32	0.076
4-1 子ども・子育て支援の充実	31	0.151	31	0.117	27	0.167	25	0.115
4-2 学校教育の充実	23	0.178	18	0.202	27	0.167	30	0.100
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	18	0.186	15	0.212	14	0.212	28	0.108
4-4 芸術文化・スポーツの振興	22	0.179	12	0.225	22	0.202	31	0.084
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	5	0.240	2	0.291	7	0.251	20	0.133
5-2 快適な道路環境の確保	2	0.252	3	0.272	3	0.267	5	0.226
5-3 公共交通の利便性の向上	3	0.251	1	0.309	2	0.269	10	0.197
5-4 上下水道の適正な運営	20	0.180	24	0.171	16	0.209	23	0.126
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	24	0.173	25	0.165	18	0.208	17	0.148
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	30	0.157	28	0.149	21	0.204	26	0.109
5-7 地域情報化の推進	20	0.180	9	0.232	24	0.180	26	0.109
6-1 開かれた市政の推進	10	0.218	4	0.258	16	0.209	13	0.179
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	14	0.202	15	0.212	11	0.225	18	0.146

※相関関係が強い順に、各区分6位まで網掛け、青字は相関関係が0.2以上の項目



■結果報告書(本編)においては、年齢区分別に、重要度(相関係数)と満足度の関係性や定住意向の向上に寄与する施策などについて分析を行っています  
 年齢区分別の重要度が高い基本施策やニーズの高い施策の概要は以下のとおりです

年齢区分	順位 (重要度)	重要度が高い基本施策	年齢区分別に見たニーズの高い施策
ヤング 39歳以下	1位	公共交通の利便性の向上	【まちとしての機能を維持していくための施策】 ・公共交通の利便性など
	2位	魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	
	3位	快適な道路環境の確保	【まちの魅力を高める施策】 ・都市空間・居住環境等の都市機能など ・快適な道路環境など ・国際・地域間交流など
	4位	開かれた市政の推進	
	5位	国際・地域間交流の推進	
ミドル 40~64歳	1位	商工業の振興と中心市街地の活性化	【まちとしての機能を維持していくための施策】 ・商工業の振興と中心市街地の活性化など ・公共交通の利便性など
	2位	公共交通の利便性の向上	
	3位	快適な道路環境の確保	【まちの魅力を高める施策】 ・観光や移住・定住の促進など ・快適な道路環境など
	4位	移住・定住の促進	
	5位	高齢者福祉の充実	
シニア 65歳以上	1位	総合的な雪対策の推進	【安全・安心に関する施策】 ・総合的な雪対策や地域医療体制など
	2位	社会保障制度の適正な運営	
	3位	地域医療体制の充実	【まちの魅力を高める施策】 ・快適な道路環境など
	4位	高齢者福祉の充実	
	5位	快適な道路環境の確保	【福祉施策】 ・社会保障制度や高齢者福祉など